

第 1 回 朝日地域審議会
会議録（概要）

期日：平成18年2月17日（金）

場所：朝日山村開発センター 多目的研修室

第1回朝日地地域審議会会議録（概要）

日 時 平成18年2月17日（金） 午前9時30分～

場 所 朝日山村開発センター 多目的研修室

出席委員（五十音順）

伊藤三郎、伊藤昭一、伊藤高喜、大滝貞吉、小野寺昇、今野継子
斎藤幸雄、佐藤多喜子、佐藤照子、佐藤久雄、佐藤八重治、佐藤芳弥
進藤進、菅原源志、田村作美、長南博昭、宮崎正視、渡部一弘、渡部長和

欠席委員

叶野正行

市出席者

鶴岡市長 富塚陽一

朝日庁舎 支所長 佐藤敏、次長 真田昭良、総務課長 佐藤靖法
企画課長 難波寛、企画主査 石井一三、主事 齋藤富喜
主事 渡部里美

本 所 政策調整室長 石澤義久、調整課長 石塚治人
政策調査課長 柴田昌明、主査 宮崎清男

次 第

- 1．開 会
- 2．市長あいさつ
- 3．委員紹介
- 4．会長・副会長の選出
- 5．合併後の状況について
- 6．説 明
 - （1）地域審議会の概要について
 - （2）新市建設計画の概要について
- 7．協 議
 - （1）今後の運営について
 - （2）その他
- 8．その他
- 9．閉 会

【会議の概要】

(辞令交付)

1. 開会 (佐藤支所長)
2. 市長あいさつ
3. 委員紹介
4. 会長・副会長の選出 (会長 佐藤芳弥、副会長 佐藤照子)

5. 合併後の状況について (佐藤支所長説明)

佐藤芳弥会長 支所長より合併後の状況ということで説明を願いました。また、合併協の2月8日開催ということでお手元に配布されている資料もあると思いますけれども、その辺も含めて何か感じていることやご質問などありましたらお願いをしたいと思います。

佐藤八重治委員 11月13日の市の駅伝で、おそらく上位入賞であったと思いますので、ぜひ皆さんに伝えていただきたい。

佐藤敏支所長 26チーム中2位という結果を聞いております。非常に健闘したと思っております。朝日地域は県のクロカンが始まってからロードレース等に力をいれて頑張ってきておりますし、また、朝日地域の駅伝大会も40回以上を数える長い伝統があるわけですが、こういったものを背景に非常に健闘されたと思います。これまでのそういった事業の取り組みを、ますます継続していけたらと思います。

佐藤芳弥会長 鶴岡市で伝統的にやっています学区をチームにした大会に町村が参加させていただいて、2位という結果だったわけです。一番の課題はどこの市町村もそうでしたが急な形で予算の対応がなく、駅伝大会は練習から含めるとかなりの予算がかかるので、各学区がどういう対応をしているかも踏まえて予算をどう作るかだと思います。

その他に何かありませんでしょうか。

佐藤照子委員 市内どこの保育園にも入園できるようになったとのことですが、保育料はどのようになっているのでしょうか。一律なのでしょう。

佐藤靖法総務課長 保育園の保育料につきましては、合併の協議の中でもありましたが、当面地域ごとに算定することになっておりますので、現在の保育料も合併前と変わらない保育料で算定されております。

佐藤芳弥会長 他に何かありませんでしょうか？今日は説明が多くなる会になるとは思いますが、その都度気づいた時で結構ですので、意見をいただきたいと思っております。

それでは、地域審議会の概要について、説明をお願いしたいと思います。

6. 説明

(1) 地域審議会の概要について（難波企画課長説明）

佐藤芳弥会長 本来であれば、この地域審議会の設置がもっと早くくるべきではなかったかなと思っていますが、地域審議会の目的とかいろいろな項目とか載っております。おそらく今後の運営については後で審議する時間がありますけれども、それにも関わってくると思いますけれども、今の説明で何かご質問、わからないところありましたらお願いしたいと思います。無かったら、後で気づいた時にでも質問いただきたいと思います。

ここで40分まで休憩を取りたいと思います。

(2) 新市建設計画の概要について（難波企画課長説明）

佐藤芳弥会長 新市の建設計画、別紙主要事業ということで提出いただきましたが、これに関して何かご意見ご質問ありましたらお願いいたします。それぞれの立場から何でも結構です。この計画は新しい鶴岡市の豊かな地域づくりを目指す基本的な柱になっていくものだと思いますし、莫大な資料になっていますけれども、すぐ見てというのは大変だと思いますが、これからもしっかり時間のあるときに読んでいただけたらと思いますし、こういう会に市長さん来てますけども、なかなかトップと意見を交わす機会無いと思いますので、なんでも結構です。何か。

斎藤幸雄委員 土地改良区が合併して、一つになったわけですが、その中で土地改良区と町村との関係は今後どういうふうになっていくのでしょうか。また、土地改良区がない地域もあります。その中で、水利権の問題が建設省あたりと出てくると思うのですが、水利権が取れなかったら水の利用が制限されると思います。生活用水と農業用水の関係は今後どういう風に進めていくのでしょうか。

富塚陽一市長 お尋ねの分野は詳しいわけではありませんので、細かいところで気がいたら事務局で答弁してもらっていいけれども、合併は耳慣れない行財システムの再構築とか言ってますが、要するに役所をまとめるという話で、民間の団体については、市町村合併したから何もかも変わらなければいけないというわけではありません。それぞれの団体のご都合で、目的がよくなるはずであって、組織が統合するのが先だとなると本末転倒であると思う。これまで積み重ねてきた経過もあるでしょうし、そこはご自由に自主的に判断いただくと、基本的にはそういう姿勢です。農協も鶴岡農協とたがわ農協と二つあるわけですが、行政の方では一緒にしろとは一切言うなど。鶴

岡でも商工会議所と大山商工会とが併設していたのですが、何も一緒にすることはないので。それぞれの地域、それぞれの分野の発展のために役立つ団体であるので。今のままでいいかというのは、われわれの段階より国や県のやり方が変わったり、農政も変わったり、補助金制度も変わったりしている。後継ぎの問題など内部的ないろいろな悩みもあるだろうと思うので変革というのはあると思います。国や県の制度の改革については支所長などを通じて、また本庁からもお伝えしますし、そのときにどうするか相談していただけたらと思います。いずれにしても世の中の変化にうまくついていって、しっかりそれぞれの所属の農家の方々が上手くやれるようになればいいと、その本筋だけは失わないようにしていきますので、具体的に何かありましたら率直にご相談いただければいいと思います。

なお、建設計画については、今は変えるほどの状況にありませんので市長からの諮問はいたしておりません。変えたほうが良いという話になったときに、ここはこうしたらどうだろうと諮問申し上げますので、まずゆっくり見ていただいて、この次にでもご相談いただきたいと思います。われわれとしても、この財政計画はこのとおりいかなければならないと思っておりますので、そのときはご相談申し上げます。

難波寛企画課長 先ほど水利権のことがございました。個々具体的に調査しないとわかりませんが、合併によって慣行水利権、許可水利権が変更になるとは考えていなかったものですから、個々事例を教えてくださいながら、また別の方策なり意見等ございましたらまたご相談をしていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

佐藤芳弥会長 今、財政の方も計画通りいかなければと市長の方からあったわけですけれども、まず役所の方も現実をそのままこの会に出していただかないと話し合いも現実的にならないと思っておりますので、その辺もよろしく願いいたします。

他に何か気づいた点ありませんでしょうか。市長のあいさつの中に農林業の位置付けと青少年の育成、地域コミュニティとありましたけれども、長南先生、教育の関係で何か。

長南博昭委員 今子どもたちにもいろいろな問題があって、その問題をなかなか解決できないで四苦八苦しています。一番の課題は一人ひとりの子どもにどれだけ力をつけることができるかという学力の問題が一番大きいと思います。どうすれば学力が高まるのか。学校の先生ばかりに頼ってばかりでは難しいのではないかという考え方を持っています。やはり家庭の協力もないと学力は高まらないと。学力一つとっても学校と家庭の関係が非常に大事だと思います。コミュニティの問題もあるけども、そのところにメスを入れ

ていかないとなかなか解決できないと思います。山形県では学級を少人数にして力をつけたいと取り組んでいるわけです。そして一定の成果をあげています。この成果をどうやってこれから持続できるかということが一つの課題であると思います。来年度鶴岡市では、アシスタントを配置するという市長さんの話がありましたが、これも一つの方法だと思います。それをいかに実際の授業のなかで子どもたちに反映できるかを真剣に考えていく必要があるのかなと思います。

佐藤芳弥会長 これからいろいろな形でご意見をお願いしたいと思います。他に何かありませんでしょうか。

菅原源志委員 市長から森林空間の活用を始めいろいろなお話を伺っています。みんなが関心と期待をしている項目でありまして、ぜひ具体的な話をお聞きしたいと思っています。細かなことはそれぞれの担当になると思いますが、そのあたりの勉強する機会の調整を佐藤会長さんに一つよろしく願いしたいという感じでありました。

佐藤芳弥会長 朝日地区は96%が山林でこの山の位置付け、富塚市長さんも「自然無くして鶴岡市は無い」というご意見もあいさつの中でいろいろ聞きますし、その辺の基本的な考え方を聞いて、この会でもどう捉えたらいいか考えていきたいと思います。あとで調整なるわけですけども、あいさつにもありましたとおり森林の権威でもある北村先生もおりますし、山大には宿舎もあります。話では、森林とか子育てなど簡単なようですけども、現実の中で接して話し合わないと、この場では進んでいけないような気がします。機会がありましたら市長さんとも連絡を取り合いながら、森林を語る機会を時期を見ながらできたらと思います。

富塚陽一市長 大変ごもっともなお話ですが、これは多少事務局にはプレッシャーになると思いますが、抽象的なお経文句が並んでいる傾向があるもので、ご要望を聞くのも非常に重要なことではありますが、もう少し客観的な実態を掌握して、中・長期的な見通しを踏まえて、何がどうなるかということなども調査しながら、そういう素材も準備して議論をするということがこの際必要になってるのではないかと。いきなり意見といわれても、いろんなデータを出して、これはこうなってるんだと改めて認識していただいて、議論したらもっと具体的な施策になりうるだろう。今非常に構造的な変革期で、なんとなく変わっているとは思いますが具体的に何がどう変わっているかがよくわからなくて言っているというのは国・県共通だと思います。そういう意味で大変ご苦労ですけども、これからは実態調査を少し深くさせると、来年度の予算もかなりそういう面で何を調査するかを決めなければならないわけですけども、林野についてみんな調べるといっても、何を調べればいいのかわか

らなくて、林野庁が作ってる統計書と同じ物ができて何にもならない。何をさしあたりつつこんで調べるかという議論をしていただいて、取り組むようにするというふうに思っています。私は林業の「り」の字もわからない人なので、実態を調べた上で検討するという手順をこれから踏むようにさせていただきたいと思いますのであらかじめご了承いただきたいと思います。国に要望する場合も、抽象的に「何とか面倒見てくれ」といっても聞き流されてしまう。「この地区の林業は、こういう具合だ、ここに問題がある」と数字などを示しながらやると、林野庁も財務省から叩かれている最中だと思うので、喜ぶと思います。ぜひ林野庁も頑張ってくれと言えば林野庁も頑張ると思っていますので、督励しながらやってみるかと思えます。

佐藤芳弥会長 ありがとうございます。大事な分野だと思います。実態に合った、実態を直接体験しながら、できればその場で未来について話し合うというのが大事な部分でありますので、そのような機会をぜひ取っていただきたいと思っています。協議の今後の運営についても踏み込んでいってしますので、その点も踏まえてご意見をいただきたいと思います。

7. 協議

(1) 今後の運営について

佐藤敏支所長 素案を提案させていただきたいと思います。今お話のように、調査・分析活動、新規の朝日の特色あるプロジェクトに対する取り組みにそういったものに大きく力をいれていかなければならないという視点もありますし、建設計画につきまして事業の執行状況及び今後の予定、そういったものもすべて含めまして、18年度に入りましてから、新年度予算の編成も終わるわけですから、18年度の早期にそういった事業の執行管理の問題、今後の予定、そしてまた地域課題いわゆる農林業の振興をはじめとする調査分析等を含めた、方向性も含めた協議につきまして、18年度早期に提案させていただきたい。その際にこの地域審議会を開催したいと思います。尚、それ以降の審議会の開催については、その18年度早期の次回の会議の際にまた協議をしていただきまして、どのような形で持っていくのかということを決めていければと思います。

佐藤芳弥会長 今事務局の方から、この地域審議会を18年度に入って予算も決定をしてから、地域課題も踏まえて開催をする、そのあとはまだこの会の方向を見つめながらということの説明あったわけですが、この進め方に何かご意見・要望ありましたらお願いをしたいと思っています。今日は説明が主で、一人ずつからご意見を聞く時間を取ればいいわけですが、時間も迫ってますし、次の機会には時間の余裕を持ちながらそれぞれの立場でいる

んな形からご意見をいただきたいと思います。みんなそれぞれの立場で頑張っている方たちですので、いろんな課題とかも感じながらやっている部分もあると思います。次の会までその辺を整理してきていただければありがたいと思います。合併でありますので、いろんな違いがあります。大きな意味で違いをお互いに認め合わないと、自分たちの特徴を生かせないというのがあると思いますので、その辺もよろしくお願ひしたいと思います。

(2) その他

佐藤芳弥会長 最後その他とありますけども、全体を通してなんでも結構ですので、ありましたらお願ひいたします。

伊藤三郎委員 まずこうして、辞令をいただきましてこの会に出席させていただきまして本当にありがとうございます。市長さんと一緒にこうして挨拶して、お話を聞かせていただきました。合併して4ヶ月、5ヶ月なるわけですけども、その中でわれわれ朝日地域に住んでいる住民も新市に誇りや生きがいを持っていかれるようにこの建設計画どおりに進められることを希望いたしますし、この審議会に2回目以降も市長さんが顔を出してこうして同行されるものであれば大変ありがたいものだと思っております。やはり自分自身はこの地域のイベントが合併してどのくらい人が増えたとか、あるいは一人暮らしがどういう風になっているとか、そういう問題が非常に大きいわけですが、この6つの合併によって、15万ほどの一人ひとりが共有する情報がないと非常に誇りを持てる地域にならないと思います。一人の鶴岡市長でありますけれども、ぜひ6つの情報を語っていただきたいと思ひますし、市長一人の体では大変だと思ひるので、ぜひそういう体制をぜひお願ひしたいと思ひます。

富塚陽一市長 100%と今約束できるかどうかは計画次第ですけども、できる限り出席するようにするのが当たり前だと思ひます。よくわかりましたので、これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

佐藤芳弥会長 他に何か...

伊藤昭一委員 和気あいあいと夢のある話し合いをして、最後にこういう意見・質問をするのは申し訳ないと思ひますが、さっき質問しようと思ったときに市長さんから先に『この財政計画の後半部分は、こうだけでもこういうふうにはそう簡単にはならないかもしれない』と答えを言われたものですから質問しませんでしたけれども、ここの前段の部分でも何でもやはり財政の裏づけがあって、住民が幸せになれる、希望が持てるというのが当然でありますから、自然を保つにしたらただでは保てないわけですので。そのところで財政計画の地方税、地方交付税、国・県支出金は、これはやっぱりわ

われわれ商工会が 150 万の負担増しが行われた現実をみますと、やはりこのとおりにはいけない、これは合併するにはこういう明るい計画表じゃないとなかなか納得しなくてできたものじゃないかなと推測しています。やはり、実は嘘だった、この建設計画そのものがまったく絵空事としないようにするには、財政計画の見通しをいきなり今年とはいいませんけども、なるべく早く現実的にはこうなるという物を示していただいた方が、住民が本当はこういうふうにして努力しなければいけないとか、要求が課題になり過ぎないようにしなければいけないといった自覚を持つためにも、そのへんの数字はどうしても 700 兆円の借金のある国ですから、私たちはこんなふうにはいかないんじゃないかなと思いますので、現実には即した数値というか見通しをあまり遅くならないうちに示していただければありがたいと思います。

富塚陽一市長 大変舌足らずな話をしたかもしれませんが、財政問題につきましてもかなり大雑把に申し上げますけれども、施設整備事業とか投資的事業とかは、問題は年度の話だけでいつかはやるのです。それだけの財源が取ればやるし、間違いなくやります。必要のないものは別として、やることにしたものは財政からだけでやめたということはほとんどないと思います。必要なものは必ずやります。ただし、お金の都合で早まったり、次年度に移行したりということはあります。全般的に、そして施設事業については合併によって、合併特例債が使えるわけですので、これは大きいです。今までは借金はさせるけども返済する時はかなり国で肩代わりしてくれた制度があったけれどもそれがなくなった。合併することによって肩代わりする比率が高い借金制度が残っていますのでそれはそれできる。もう一つ、人件費とかの経常経費の部分については、どうしても今のままでいいということは必ずしも言えないと思います。特に行財政の改革ということは一般の方からも求められているので、やはり役人の数も減らさなければならない。そして余計なことはしていないつもりですけども、もっと合理化することが必要だとか、いろんな民間の方々の運用についても、金の使い方ももっと上手にできないかとか、あるいは単なる公費負担ではなく、国全体では受益者負担制度というのかなり出てくると思います。料金を高くして公的資金援助の比率を下げるといのがこのごろ目立ってきた。そういう制度の変革がありますけども、財政計画は常に毎年毎年作らなければならない。われわれは結局何をしたいかという来年度の予算がどうなるかということが最大のポイントで、それを位置付ける意味で先行きを見直しするということですので、原則的に言えば財政計画は毎年立てなければいけない。常に変わる。そして闘いながら変わる。国に要望し、県にも要望しながら交付税をもらったり、いろいろ資金もらったりしてやるという。ですので、10 年間立てたからそのまま変わ

らないというのは無いのです。われわれはこの仕組みの中でどうやって今皆さんが必要なものをキープするかということを、闘っていくわけですので、おっしゃるとおり財政計画は毎年立てなくてはいけないけれどもしていない。だんだんしなければいけないかもしれない。あまり変わってきた時はしなければいけないと思う。気持ちはよくわかりましたので、できる限りお答えいたしますので、そもそも性格的には毎年毎年闘わなければならないというので、決まったとおりならないので頭にきたといったとしても、無くなるものは無くなるので、もらうものはもらわなければならないということです。その辺をひとつご理解いただきたいと思います。毎年毎年の状況変化については、審議会の席上でご報告させるようにいたしますので、よろしく願いいたします。

佐藤芳弥会長 財政は大事な分野だと思います。合併して18年度が最初の予算編成になるわけですので、これを通り抜けると大きな方向が見えてくるのではないかなと思います。いろいろ皆さんからご意見いただければよかったのですが、時間の制約もあり説明の部分もあったということで、意見の時間を取れなかったことを申し訳なく思います。第2回はぜひ皆さんからの発言をいただきながら方向付けをしていきたいと思ひますし、またそれぞれの立場でのいろんな学習、そしてこの会も行政から言われるがままではなく自分たちでできることはどうしたらできるかということも考えながらやっていきたいと思ひます。その他に皆さんから何か、どんな角度からでも結構です。無いようですので、第1回目の会議を閉じたいと思ひます。本当にお忙しい中ご苦勞様でした。今日がスタートで、この会がこれからのこの朝日地域を含めて新しい鶴岡市のまちづくりにむけた大事な会になっていくと思ひます。われわれも会長としてその服務を頑張っていきたく思ひますので、よろしくご指導もお願いしたいと思ひます。本日はありがとうございました。ご苦勞様でした。

8. その他

9. 閉会（午前11時30分）